

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 今後の小平市地域エネルギービジョンとエネルギーの地産地消について

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

近年小平市でも猛暑や豪雨等の異常気象が頻繁に発生しています。私たちが暮らす環境や農作物、生物への影響が表れています。原因である温室効果ガスの排出を削減することは、世界的に取り組むべき問題であり、基礎自治体である小平市はスピード感をもって具体的な取り組みを計画的に進めていく必要があります。

今年5月(仮称)小平市第三次環境基本計画策定の基本方針が示されました。2021年度から2030年度までの10年間の計画期間で、小平市第二次環境基本計画の個別計画として位置づけられていた小平市地域エネルギービジョンや第二次エコダイラ・オフィス計画を改定して組み込むことや自然環境分野を生物多様性地域戦略として組み込むことが示されています。

小平市では他市に先駆けて地域エネルギービジョンを策定し太陽光発電日本一を掲げ、省エネや創エネに精力的に取り組んできたと評価しています。個別計画として位置づけられていたものが上位計画に組み込まれることによって、小平市のエネルギーに関する施策が後退しないように、そして今後ますます発展していくように以下質問します。

- 1、小平市地域エネルギービジョン、エコダイラ・オフィス計画を(仮称)小平市第三次環境基本計画に組み込むことになった経緯と理由をお示ください。
- 2、温室効果ガスの削減については計画期間の10年を超えて取り組まなくてはならない課題で、もっと長期の視点も必要となってきます。見解をお示ください。
- 3、温室効果ガスの削減のために、エネルギーの地産地消は大変有効と考えますが、見解をお示ください。
- 4、今後、温室効果ガスの削減をどのように進めますか。市民との協働の取り組みについてもお示ください。
- 5、小平・村山・大和衛生組合の(仮称)新ごみ焼却施設では焼却時の熱を利用した発電が行われることになっています。市はどのくらいの予定発電量と聞いていますか。発電した電気を市として活用する予定がありますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和元年5月27日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)